

連絡先：自動車局審査・リコール課リコール監理室

TEL：03-5253-8111 内線42354

アドレス：<http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成25年8月5日

リコール届出番号	外-1955	リコール開始日	平成25年8月6日
届出者の氏名又は名称	株式会社メガリジャパン 代表取締役 片岡 匡史		〔 製作国：中国 製作者名：Megelli Ltd. 問い合わせ先：076-259-6630 〕
不具合の部位（部品名）	①ドライブsprocket②インジェクターコネクタ ③バンクアングルセンサープログラム④リアブレーキホース⑤クラッチボス		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①ドライブsprocketの整備時において、固定ボルトに過剰な増し締めを行うことでねじロック剤が剥がれたり、固定ボルトにねじロック剤を塗布せずにドライブsprocketを再組み付けすると、振動等により締め付けが緩み、駆動力を伝達できないおそれがある。最悪の場合、走行中に固定ボルトとともにドライブsprocket及びドライブチェーンが外れて回転部分に噛み込み転倒するおそれがある。 ②インジェクターコネクタの材質が不適切なため、整備時に過度な負荷をかけたり、適切に取り付けしていない場合、損傷して燃料が漏れるおそれがある。 ③バンクアングルセンサーにより転倒判定を行うECUプログラムが不適切なため、走行中に転倒したと誤判定し、エンジンが停止するおそれがある。 ④リアブレーキホースの取付位置及び取付方法が不適切なため、リアブレーキホースが損傷してブレーキフルードが漏れてリアブレーキの制動力が低下するおそれがある。 ⑤クラッチにおいて、メーカー指定と異なるクラッチボスが組み込まれたため、メインアックスとの嵌合が不十分なものがある。そのため、トルクがかかると嵌合が外れて動力を伝達できず、走行不能になるおそれがある。		
改善措置の内容	①皿バネを追加し、固定ボルトにねじロック剤を塗布して規定トルクで締め付けるとともに、ユーザーに対して適切な整備方法を説明する。 ②インジェクターコネクタ及び燃料ホースを対策品に交換する。 ③バンクアングルセンサーの転倒判定条件プログラムを変更したECUに交換する。 ④リアブレーキホースの取付方法を変更するとともに、リアブレーキホースを点検し、損傷がある場合には新品に交換する。 ⑤クラッチボスを点検し、異品が使用されている場合には良品に交換する。		
不具合件数	①2件②6件③2件④5件⑤7件	事故の有無	なし

発見の動機	販売店からの情報による。
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者：弊社HP 及び販売店から 電話にて通知する。 ・ 自動車分解整備事業者：使用者と連絡が取れるため、日整連発行の機関誌等への掲載は行わない。 ・ 改善実施済車：ステアリングシステム部にステッカーを貼付する。

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び輸入期間	リコール対象車の台数	備考
Megelli	LWGYDNL	「250r」	00BA001730～09CA002683 平成23年12月14日～平成24年12月5日	395台	①：393 ②：395 ③：312 ④：274 ⑤：36
	(計1型式)	(計1車種)	(輸入期間の全体の範囲) 平成23年12月14日～平成24年12月5日	(計395台)	

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。